

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、矢那川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



洪水浸水想定区域図（公表済）
洪水ハザードマップの更新・配布

危機管理型水位計・河川監視カメラ
（設置済）

公共下水道区域内の
雨水流出抑制の指導

樹木伐採、堆積土撤去

護岸整備、河床掘削、
橋梁改築

事前放流

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・護岸整備、河床掘削、橋梁改築
 - ・樹木伐採、堆積土撤去
 - ・矢那川ダムの事前放流
 - ・公共下水道区域内の雨水流出抑制の指導
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の見直し

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・雨水出水浸水想定区域の指定
 - ・洪水ハザードマップの情報提供・更新・配布
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・水防災教育の推進
 - ・事業継続計画（BCP）の策定
 - ・不動産取引時の水害リスク情報提供
 - ・地区別防災指針の策定



【凡 例】

- 流域界
- 河川改修
- ▲ 矢那川ダムの事前放流
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

水田を活用した一次貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用

護岸整備（矢那川）



事前放流（矢那川ダム）



- 矢那川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】河川における対策として、矢那川の下流域で富士見橋の改築を推進するとともに、矢那川の中流域（大正橋～原田橋）と平川の下流域（矢那川合流点～東関東自動車道）で樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。

【中 期】富士見橋の改築完了後、矢那川の下流域（矢那川橋～證誠寺橋）で矢那川橋の補強、河床掘削を実施する。

【中長期】引き続き、矢那川の下流域（證誠寺橋～大正橋）で護岸整備、河床掘削及び橋梁改築を推進し、矢那川の事業区間について整備完了を目指す。

- あわせて、矢那川ダムにおける事前放流や水田を活用した一時貯留（田んぼダム）やため池等の治水活用を推進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	護岸整備、河床掘削、橋梁改築	千葉県	富士見橋の改築	矢那川橋～證誠寺橋	證誠寺橋～大正橋
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	矢那川、平川	定期的に見直し実施予定	
	矢那川ダムの事前放流	千葉県	継続して実施		
	公共下水道区域内の雨水流出抑制の指導	木更津市	継続して実施		
	水田を活用した一時貯留（田んぼダム）	集落活動組織等	千葉県と木更津市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と木更津市が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
	立地適正化計画の見直し	木更津市	改定・運用	定期的に見直しして運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	運用状況の検証・定期的に更新予定		
	洪水ハザードマップの更新・配布	木更津市	随時見直しながら実施		
	マイ・タイムラインの作成支援	木更津市	継続して実施		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	木更津市	継続して実施		
	水防災教育の推進	千葉県・木更津市	継続して実施		
	事業継続計画（BCP）の策定	木更津市	継続して実施		
	不動産取引時の水害リスク情報提供	木更津市	継続して実施		
	地区別防災指針の策定	木更津市	随時見直しながら実施		

【事業費（R4以降の残事業費）】

■河川対策

全体事業費 63.2億円

河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

【事業費(R4以降の残事業費)】
■河川対策
全体事業費 63.2億円
河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進